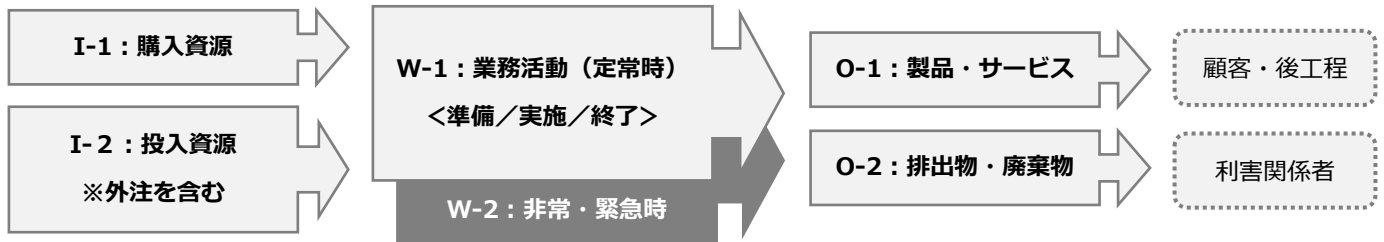


部門： 製造課 管理者： **課長、**リーダー 使用目的： 環境側面・影響・目標設定の管理

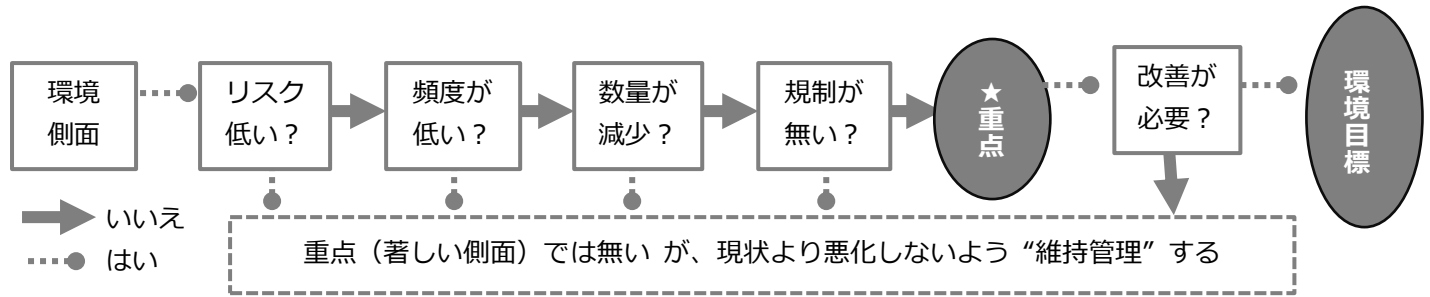
● プロセス 業務フロー 体系（各プロセス共通） ※事業ライフサイクルに基づくプロセスは「プロセス適応図」に示す。



● プロセス 環境側面の調査・特定 ※ Environmental Aspect = 社会環境に影響を与える可能性がある対象（要素）

Input-1 購入資源（原材料、エネルギー）					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
	電気	—	節電の推進	良：省エネ 悪：ムダ使用	日常管理
	工業油	消防・安全	SDS・危険物管理	良：省資源 悪：法令違反	リスクアセスメント表
★	材料・副資材	—	適切購買、適性在庫	良：省資源 悪：ムダ使用	購買システム
Input-2 投入資源（業務設備、関連インフラ、人材：力量、購買・外注製造）					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
	加工・検査設備	—	日常点検、定期メンテ	良：省エネ 悪：ムダ使用	設備マップ
	コンプレッサ	騒音振動	日常点検、四半期点検	良：省エネ 悪：ムダ使用	設備マップ、順守評価表
	冷却器・空調	フロン	日常点検、四半期点検	良：省エネ 悪：ムダ使用	設備マップ、順守評価表
	事務所・食堂	—	整理整頓、清潔	良：省エネ 悪：衛生悪化	日常管理
	駐車場	—	安全利用、騒音抑制	良：環境維持 悪：事故発生	日常管理
★	環境力量	※公的資格	環境影響に即す管理	良：環境教育 悪：業務ミス	スキルマップ ※裏に記載
★	外注製造	—	品質不具合の管理	良：省エネ、省資源 悪：不良品	**協力会 ※改善活動
Work-1 業務活動（定常時）＜準備／実施／終了＞					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
	段取り	—	業務管理、作業指示	良：省エネ 悪：事故発生	品質会議 ※トラブル報告
★	加工、保管	騒音振動	効率化・ムダ防止	良：省エネ、省資源 悪：不良品	標準作業、品質会議
★	片付け	—	廃棄物の分別、掃除	良：安全衛生 悪：衛生悪化	日常管理
Work-2 非常時・緊急時					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
★	油漏洩	水濁、土壌	緊急事態 教育訓練	良：— 悪：外部漏洩	緊急事態 手順書・記録
★	災害発生	消防	全社避難訓練	良：— 悪：各種の汚染	避難経路図
Output-1 製品・サービス提供					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
	出荷・検査	—	納期管理、出荷検査	良：— 悪：ムダ不良品	品質会議 ※クレーム対応
Output-2 排出物・廃棄物					
重点	環境側面	適用法規	管理手法	環境影響	運用ツール
	機器 騒音振動	騒音振動	業務管理、設備管理	良：省エネ 悪：苦情発生	設備マップ、順守評価表
★	廃棄物	産廃処理	廃棄物置場の管理	良：安全衛生 悪：法令違反	設備マップ、法規ファイル
★	3R 推進	産廃処理	廃金属の分別	良：省資源 悪：ムダ使用	日常管理

● 環境影響評価 > 重点 = "著しい環境側面" > 改善テーマ：環境目標 の決定ロ※アルゴリズム法に拠る



著しい環境側面 = 重点テーマ 一覧表 ⇒ 環境目標へ反映するか決定する

工程	環境側面	主な決定理由	環境目標への反映：理由・対応手法
I-1	材料・副資材	日常的に消費、使用量が多い（金属材料）	○：品質目標（不良削減）へ統合する
I-2	環境力量	資格対象、人材育成や業務改善に必要	○：人事評価（スキル向上）へ統合する
I-2	外注製造	サプライチェーンへの責任、品質影響に関係	○：品質目標（不良削減）へ統合する
W-1	加工、保管	主要業務として品質影響にも関係	○：品質目標（不良削減）へ統合する
W-1	片付け	法規対象、廃棄物は日常的に発生	×：法令順守の管理手順で維持できる
W-2	油漏洩	法規対象、漏洩リスクあり	×：緊急事態管理で維持できる
W-2	災害発生	法規対象、発生時の被害影響が大きい	×：緊急事態管理で維持できる
O-2	廃棄物	法規対象、日常的に発生	×：法令順守の管理手順で維持できる
O-2	3R 推進	日常的に発生、分別に拠り有価物に分類できる	×：法令順守の管理手順で維持できる

● 環境目標の決定（品質目標との統合）、パフォーマンス総量の把握について

- 環境単独の目標は設定しない（品質と統合運用）が、以下の目的（狙い）に即ず活動を推進すること。
 「統合目標における 環境側面を正しく認識 し、活動施策を通じて 環境影響の改善を推進 する」
 - 側面個々の総量計算はしない（プロセスで推移状況を監視、統合パフォーマンス成果を目標値と対比確認）。
 但し、環境リスクが高まる傾向が監視結果から確認されたら「対象数量の臨時調査」を検討する。
- 例： 購入・廃棄金属の増加（購買システム・マニフェストで確認）、電力の浪費（残業時間、電気代で確認）、他

● 環境維持に必要なこと

- 生産性の向上： 「ムダ仕事」を削減、省エネで効率的な仕事を推進する
- 廃棄物の管理： 工場内での分別、廃棄物置き場（業者受渡し場）の整理・清潔維持
- 労働災害の抑止： 構内パトロールなど「日常的な KY 活動」の遂行、朝礼等での指導教育
- 日常監視と報連相： 品質会議や社内会議への報告、記録に残す習慣作り、品質管理との連携
- 内部監査、順守評価： 環境担当者（**リーダー）と協力連携し、プロセス全体の維持改善に努める

部門における
管理ポイント

● 環境維持に必要な力量 > スキルマップ（要員への適応）

- 管理者： 本表の管理（側面・影響・目標）、関連の法規制知識、環境活動の推進、順守評価の支援
- 課員： 本表の理解（重点、項目）、改善+維持管理の実施、管理者の支援

<スキルマップ> 管理者（**課長、**リーダー） 課員（他の全員 ※記名略）

※スキルマップ見直しや教育訓練は、社内会議で協議決定のうえ、実施する。